

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念と19年度事業計画書に「地域社会と共存した生活の営みを・・・」の文言を入れている。	○	・パンフレットにも地域密着型サービスの文言を入れる。 ・理念を事業所独自のものを作り上げる。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・日々、尊厳を大切するため、一人ひとりの時間に、目線をあわせた支援と共感と共鳴を持ち、さりげなくお世話をしよう会議などを通じ確認したり都度意見交換を行い、具体的なケアについて統一に取り組んでいます。	○	・新人・中間職員に伝わるよう会議などで確認を行いながら取り組んでいく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・家族に対しては運営推進会議やお便りなどを活用し浸透に努めています。 ・地域住民に対しては各種団体代表者会議で説明したりイベントへの参加の他、機会あるごとに事業所の実践を伝えるようにしている。 ・関係機関には、働きかけを行っていない。	○	・パンフレットにも地域密着型サービスの文言を入れる。 ・警察・消防などにもお便り、パンフレット等で理念を伝える。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・回覧板、散歩、ゴミ捨て、清掃活動などを通じて付き合いが出来るよう努めています。 ・管理者が地域役員をしているので、日常的な付き合いに努めている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・近所の方と行事を通して交流を深めている。 ・各種団体代表者会議に参加し意見交換している。 ・運動会、敬老会、清掃活動に参加している。 ・管理者が地域役員をしているので、日常的な付き合いに努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・運営推進会議や地域の各種団体代表者会議に参加し、認知症予防へのお話をしています。 ・区長さんから相談受け、解決への事業所紹介を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・運営者は評価について管理者、職員の質・知識・技術の向上への研修・勉強会等に対して積極的な支援をしています。 運営者は職員会議等にも出席し意見交換などをし改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・ご利用者、ご家族、地域代表者、広域行政組合の皆様にも月毎の事業報告を行い、話し合いを行いそこで得た意見をサービスの向上に役立っています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・出来るだけ広域行政組合に出向き、ひざを交えての相談をするよう努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・権利擁護に関する制度の学ぶ機会はまだ持っていません ・権利擁護の勉強をする	○	・法人内資格者に研修を受ける
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・身体拘束ゼロへの手引きで勉強している。	○	・新人職員、先輩職員も常に勉強してく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・重要事項説明書や運営規定等で説明し、利用者・家族様の不安、疑問点、希望を聞き理解を得ています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・運営推進会議には利用者全員の出席を頂き、不満、意見を出して貰う機会を設けています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・お便りで暮らしぶり健康状態、職員の移動状況等を伝えています。 ・金銭管理は出納帳コピーと領収証を月末に送っています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・運営推進会議の席上や面会時に不満や苦情を話せる雰囲気作りをしています。 ・苦情箱を設置しています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・事業報告書・計画書で説明している。毎月の職員会議でも意見や提案を聞き生かせるよう話し合っています。 ・運営者も職員会議に参加し意見交換をしています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・利用者の状況変化や要望に対応出来るよう職員・上司と相談し勤務の調整を行っています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員の勤務移動は出来るだけ発生しないようにし、職員間の和を大切にしています。 ・変わる時は、引継ぎ期間を1ヶ月以上取り利用者へのダメージを少なくしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人の全体研修会の実施。 ・OJTの推進</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・グループホーム協会(全国・岩手県G・H)に入会し、岩手県・県南定例会に参加し互いのサービスの向上に努めています。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・メンタルヘルスのアンケートとカウンセリング。 ・敷地内にカラオケルームを作り、職員間の親睦を行っています。 ・季節毎の親睦を行っています。(年始、観桜会、納涼会など)</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・資格取得制度別報奨金 ・人事考課制度及びフィードバック。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・相談から利用までは家族とのお話しが多く、本人からよく聞くことは少ない。 ・入居されてから本人自身から困っていること不安を聴き受け止め、信頼を築くよう努めています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族様が困っている事や不安になっている事を十分に時間を掛け、お互いに納得が出来るまで話し合っています。 ・ホームが不安になることも素直に伝え、家族も本人が新しい生活を行うための支援者であることをお願いしています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談時、出来るだけホームを見学して貰えるよう勧めています。本人の身体状況に応じ法人内の事業所を紹介するようにしています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・見学から始まり宿泊が出来ないときは、ご自分の家で外泊を行い徐々に慣れるようにしています。 ・自分の家で生活していたように自由にしてよいこと、さりげなくお世話が出来る様家族から情報提供を受け馴染めるよう工夫しています。 ・職員間で他利用者さんとの仲立ちをとっています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の役割を基本に置き、一緒に行動を共にし、教えられるように働き掛け自信と満足感を得られるよう関係を創っています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・通院や理容などに家族様が一緒に携わることなどで支えています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・面会時、行事のとき、毎月のお便りや状態の変化時の電話などで、生活・健康状態をお話しを行い、良い関係をつくるよう努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族、兄弟、親戚の方がいつでも気安い雰囲気づくりに努めています。 ・理容店は出来るだけ昔からの店を利用してます。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・仲の良い利用者同士で入浴しています。 ・居室に訪問し合いお友達とお話したり、お茶を楽しんでいます。 ・車での旅行時は隣同士で座ったりしています。 ・世話好きの利用者様に得意な役割で他利用者と接する機会をもうけています。	○	・自席だけでなく、ホーム内にテーブルや、椅子を増やし居場所を増やす。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・街や店、イベントなどで合った時は、その後の状態等や近況のお話しをしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・個々のケアプランには本人の意見を取り入れています。 ・センター方式を活用し、本人の言葉や家族から得た情報で係わりが出来るように努めています。 ・職員会議、申し送り等で得た利用者の思いや意向をの把握に努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居前のフェースシートで情報の把握に努めています。 ・センター方式を使用し、家族の協力を得て馴染みの暮らしの情報を得ています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・利用者の今を大切にして、その日の状態に合わせて、有する力を発揮出来るようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・センター方式を取り入れ本人・家族・親戚・友人等からの情報・意見やアイデアを反映したケアプラン作成に努めています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・期間に応じた見直しの他に、見直しが必要になった時(退院後、体調不良、状態変化)は、カンファレンスを行い本人・家族と相談し現状にあった計画の提示が出来るよう努めています。		・確実にケース記録の「気付く」項目に記録する。カンファレンス時トレーサビリティが出来るようにする。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケースや申し送り記録を残し、次のプランの見直しに活かしています。		・確実にケース記録に残し、トレーサビリティが出来るようにする。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・身体変化が起きた時は、家族との相談の上、法人内の機能活用が出来る様支援しています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ボランティアでは、日本赤十字奉仕団のセラピュティック、民生委員からは介護員側のストレス回避、地域消防団には有事の時の支援を機会ある事をお願いをしています。		・警察や教育機関へは、パンフレットなどで協力の支援のお願いをして行きます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・ADLの低下に伴い、家族と相談しながら、他のサービス事業者と話し合い、他のサービス利用を行っています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・まだありません		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人家族に希望するかかりつけ病院を受診しています。 ・休日・夜間緊急時は協力病院である一関病院を受診出来る体制をとっています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・協力医の秋保クリニックと関係を築き相談できる体制をつくっています。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・法人の看護師から日頃、季節に応じた健康管理方法について助言や指導を受けています。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・入院に至った時は出来るだけ見舞いに行き、安心されるよう心掛けています。入院時の様態や退院時期などの情報交換を行い状況に対応出来るよう連携しています。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・重度化した場合の方針を家族、本人と話し合いを行い共有しています。</p> <p>・終末期は考えていません。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・重度化した場合の支援、出来る出来ない事は見極めており、掛かりつけ医あるいは法人の協力を得ながら行っています。</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・行き先のケアマネによる事前調査があり、退去時にもケース記録を基にサマリーの発行と意見交換を行っています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・秘守義務の指導や誇りを損ねるような言葉掛けをしないまた、思えた時の注意を互いするようにしている。 ・個人情報は見えないように工夫しています。 ・言葉掛けはさりげなく目立たないようにしてます。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・突然に話すのではなく、会話の中に自分で決定や選択が出来るよう話しています。	○ ・今日、今週、今月の行事、祭事内容を掲示し利用者が自然に分るようにしている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者の暮らしから希望を自発的に話せるような会話を心掛けています。 ・利用者間で過せるよう働き掛けを行い、その中での会話を大切にしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・洗面所に椅子をおき、自分で身だしなみが出来るようにしています。 ・自席でも身だしなみが出来るよう櫛、鏡を設置しています。 ・家族と出かけたり、地域の床屋に行っています。	○ ・タオル、くしを自分で取れるようにする。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・一人ひとりの食事の好みを取り入れまた、買い物出来るようにしています。 ・自発的に台所に入ってこれる会話を行い、その人の力が出せるようにしています。	○ ・献立や材料が見えるようにする。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・自分が買った物をふるまったり、嗜好にあった物で会話を更に助長し楽しみの時間を支援しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンツ使用を基本に置き、体調に合わせて介護用品を使用しています。</li> <li>・パターンで声掛けや、出来ない部分を支援しています。</li> <li>・失敗が他利用者に影響が出ないよう支援しています。</li> </ul>		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に昼・夜間問わず本人希望で入浴が出来るようにしています。</li> <li>・入浴介助も本人の羞恥心を配慮しています。</li> </ul>		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の散歩、レクを促したり、趣味を行い、気持ちよい休息や、睡眠がで出来るようしています。</li> </ul>		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に行えるよう、掃除道具は自分から使えるようにしています。</li> <li>・地域の行事や季節感が感じ取れるよう外出をしています。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴を把握し、楽しみ、役割が多くもてるよう、センター方式を多く活用致します。</li> </ul>
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の協力を得て、自分の財布にお金を持ち、好きな物の買い物が出来るようにしています。</li> </ul>		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望や行動から散歩、買い物、外食に出かけています。</li> </ul>		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族も一緒に行事に参加してもらい、観光、温泉などで楽しんでいます。</li> <li>・外食、居酒屋に出かけています。</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・自分から又は、職員から電話番号を押し家族、親戚の方とお話し喜んでいます。 ・家族から手紙は来ていますが、手紙を出したことはありません。	○	・手紙を書ける方へは支援して行きます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・かしこまった挨拶は出来るだけ避け、自然な姿勢で相手に窮屈な気持ちを抱かせないようにしています。 ・居室でくつろげるよう、テーブルセット、お茶セットを準備しおもてなしをしています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・月1回の行動委員会で身体拘束の有無を確認しています。 ・拘束になる内容を本や先輩職員から聞き学んでいます。	○	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・出かけた時に自由に出られるようにしています。 ・最近入居された方が、職員が少ない早朝・夜間・昼休み時間に出かけるので家族の承諾を得鍵を掛けています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・職員による安否確認が重ならないよう情報の共有をしています。 ・ノック後の入室を行い、様子を確認しています。 ・身体異変への気付きを早くチャッチし、情報を共有しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・容器に大きい字で物品が分るようにしています。 ・ハイター、食器洗い洗剤は、利用者の目が届かない場所に置いています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・それぞれの事故の想定を行い勉強会や訓練を行っています。 ・転倒(見守り、センサー使用)、窒息(食べ物の配慮、体調不良時、巡視強化)、誤薬(1対1)、火災(避難訓練)	○	・行方不明への対応の訓練を行う。 ・誤薬への対応に対する研修。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・緊急時の対応は職員会議や、身体変化が発生しそうな場合、対応の確認をしている。 ・職員への救命講習を受ける	○	・普通緊急救命を受講する。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・夜間想定で災害時の避難方法を近隣の方と確認しています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・入居時あるいはその後に予想されるリスクを電話、面会などで、相談と対応策を話し合っています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・バイタルチェックを行い本人への確認と様子から感じ取った事柄を職員と確認し合い、対応への情報としています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・本人薬の説明書で用法、副作用を確認できるようにしています。 ・薬辞典を購入し、薬に対する知識を得ています。 ・通院時に先生に状態を報告しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・体を動かすことへの促しと散歩や役割などを実施をしています。 ・繊維質野菜を食事に取り入れています。 ・排泄への誘導を行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後歯磨きとうがい液を使用し行っています。 ・入歯の方は夜間、洗浄剤で漬け置きを行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に法人内の栄養管理士にカロリー確認とアドバイスの協力を得ています。</li> <li>・食事量はその人が食べられる量、水分量はお茶、コーヒー、ココア、牛乳などをチェック表で確認しながら摂っています。</li> </ul>	
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防・対応策があり法人内勉強会やグループホーム協会研修会などで知識を得予防に努めています。</li> </ul>	○
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺菌剤と食器乾燥機を併用しています。</li> <li>・食材はその日に使い切る量の購入と食べきれぬ量にしています。</li> <li>・食材は新鮮なうちに使い切るようにしています。</li> <li>・食事担当者は冷蔵庫内、棚の整理、整頓を行っています。</li> </ul>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルや椅子を玄関、庭に置き、利用者・近隣の方が利用できる様に配慮しています。</li> <li>・季節に応じた花を植え会話が自然と生まれるよう工夫しています。</li> </ul>	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が自ら生活していくため道具や設備が安全に使えるよう工夫しています。</li> </ul>	○
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソファーや畳などで自由に過せる場所やアルバム、新聞、本なども利用できるように心掛けています。</li> <li>・自分でお茶が飲めるようテーブルにお茶セットを置いています。</li> </ul>	○

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・利用者・家族には本人が使い慣れた物も持ち込み出来るよう説明しています。 ・食事に必要な箸・茶碗などや家族の写真、テレビ家具を持ち込んでいます。 ・仏壇も持って来た方もおります。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・室内にある温湿度計を見ながら、暖房・冷房、加湿を行い、換気は掃除時間又は利用者がいない時間に行なっています。		
は				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・安全を考え、持てる力を生かせるよう、手すり、テーブルの高さ、補助具を作り支援しています。(物干し、居室への手すり、呼びブザー)		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・場所が分るような表示の工夫。 ・同じ容器や模様を出来るだけ長く使用しています。 ・衛生用品は探さないように常に補充しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・ベランダに目的をもって出られるよう物干しを設置しています。 ・プランターを置き、世話と成長する楽しみがもてるようにしています。 ・庭木が植え込んでおり、草取りの役割をもてるようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者が自ら行動（役割）に移せるような会話を心掛けています。
- ・笑い声が出るように接しています。
- ・尊厳を重んじ、レクと通常の接し方は分けており、礼儀も忘れないようにしています。
- ・利用者さんの不安や他利用者がおかしい人と抱かないよう心がけ黒子に徹しています。
- ・利用者さんの居場所を内・外で作り、生活がマンネリにならないように考えています。